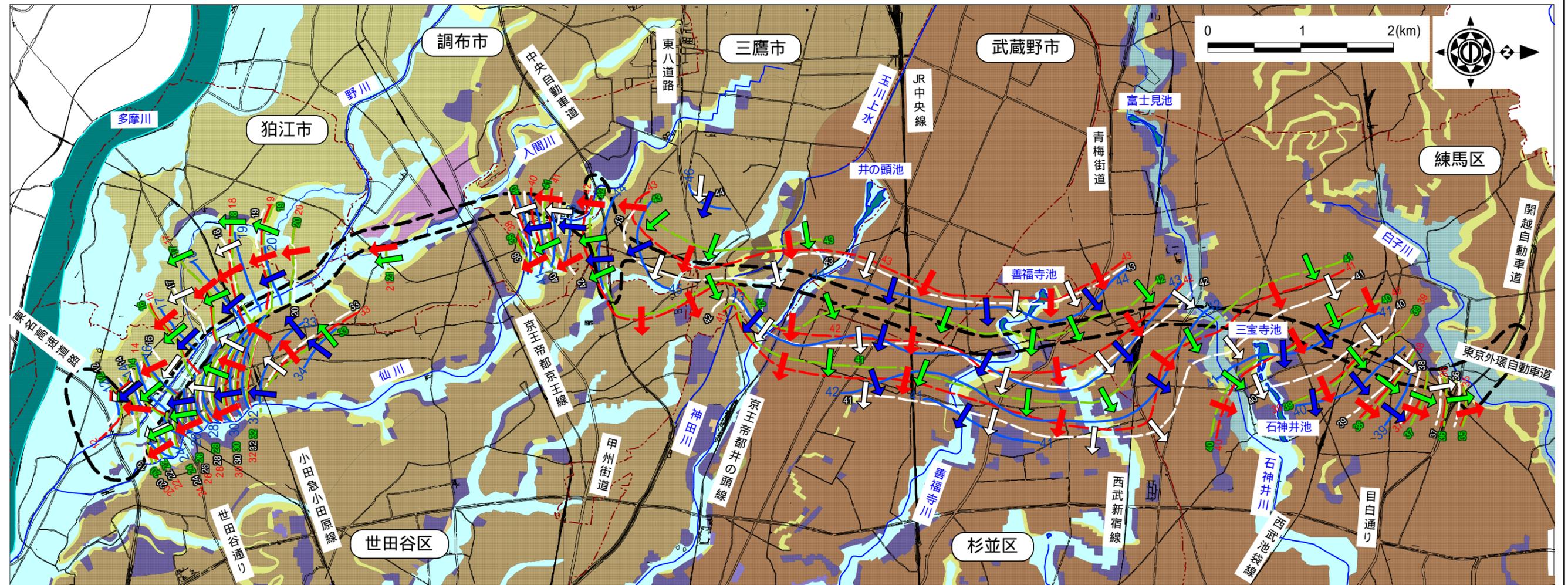


浅層地下水調査

立川礫層や武蔵野礫層にある浅層地下水位の標高と移動方向は、地下水位観測孔での観測結果と周辺地区の防災井戸や湧水の測定結果を基にまとめました。



浅層地下水の水位標高と移動方向

標高は東京湾平均海面を基にした表示(T.P.+m)を用いています。
 本地図は、東京都デジタルマッピング 地形図を使用しています。

浅層地下水の状況

各地域毎の特徴は以下のとおりです。

< 野川沿い周辺 >

浅層地下水の流向は、全体的に北西～南東に流れています。国分寺崖線付近では、野川に向かって南西に流れています。

< 中央道周辺 >

浅層地下水の流向は、全体的に北西～南東に流れています。

< 青梅街道周辺 >

浅層地下水の流向は、全体的に西～東に流れています。

< 関越道周辺 >

浅層地下水の流向は、全体的に南西～北東に流れています。

凡例

- : 秋季の地下水位の標高
- - - : 夏季の地下水位の標高
- - - : 春季の地下水位の標高
- - - : 冬季の地下水位の標高
- ← : 秋季の地下水の移動の方向
- ← : 夏季の地下水の移動の方向
- ← : 春季の地下水の移動の方向
- ← : 冬季の地下水の移動の方向

地形区分

色	地盤
	主な人工改変地
	低地部
	崖・斜面
	立川面
	M3面
	M2面 武蔵野面
	M1面
	下末吉面